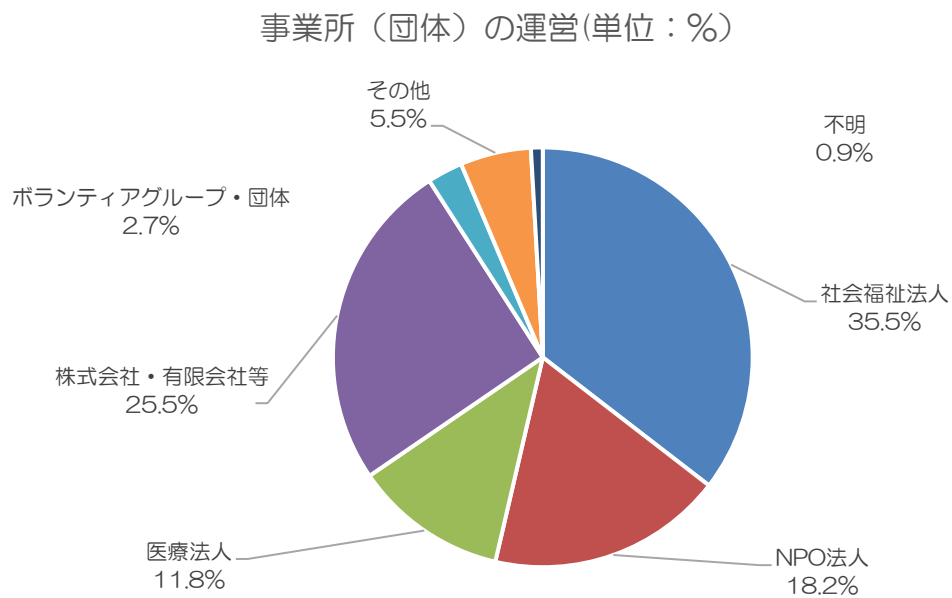


### ◆事業所調査

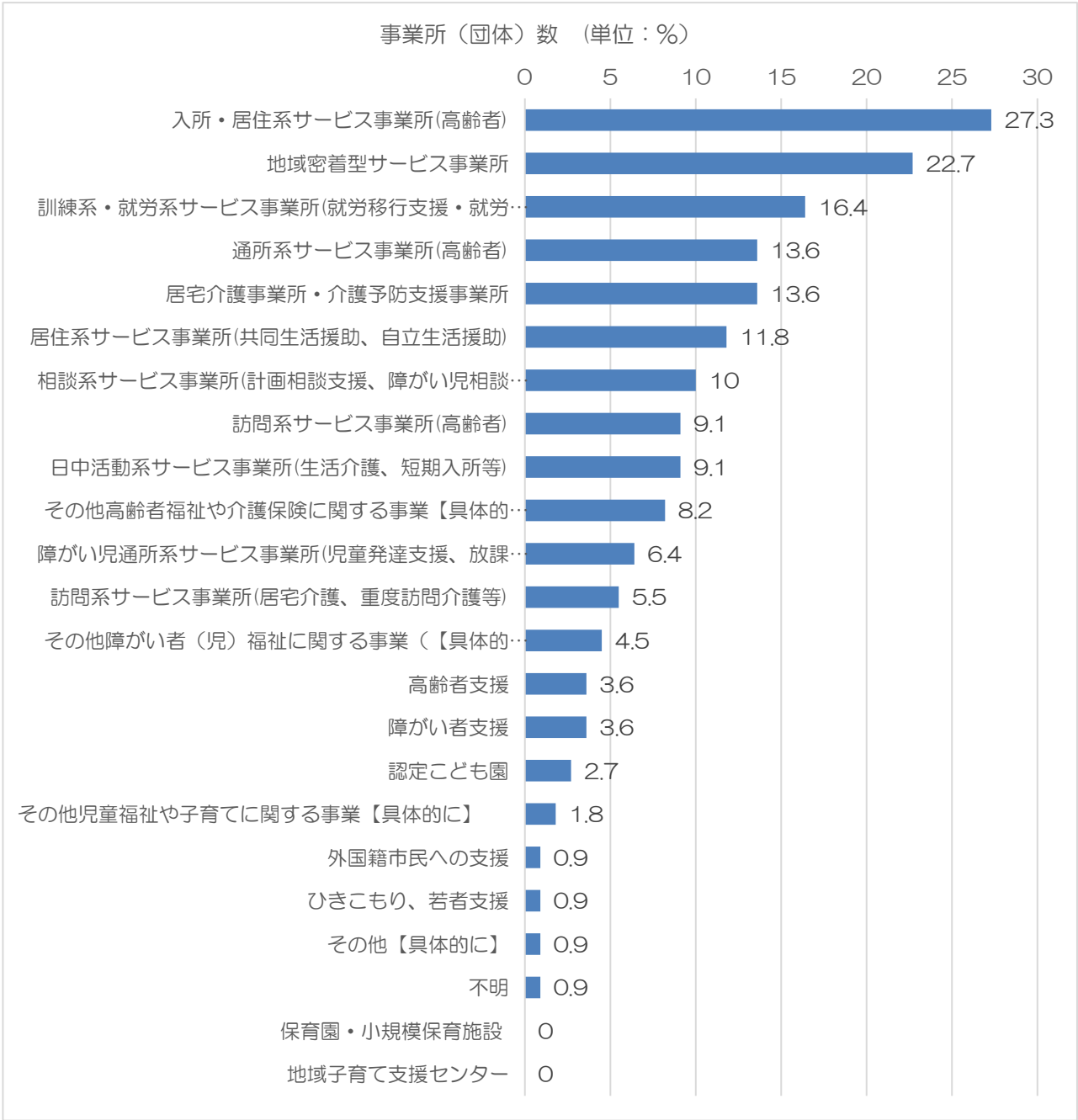
- 1) 調査対象：市内の200事業所を無作為抽出
- 2) 調査方法：郵送により配布し、郵送により回収
- 3) 調査期間：令和5年1月13～31日
- 4) 配布数：200票
- 5) 回収数：110票
- 6) 回収率：55.0%

## 問1 貴事業所（団体）の運営は次のどれに該当しますか。



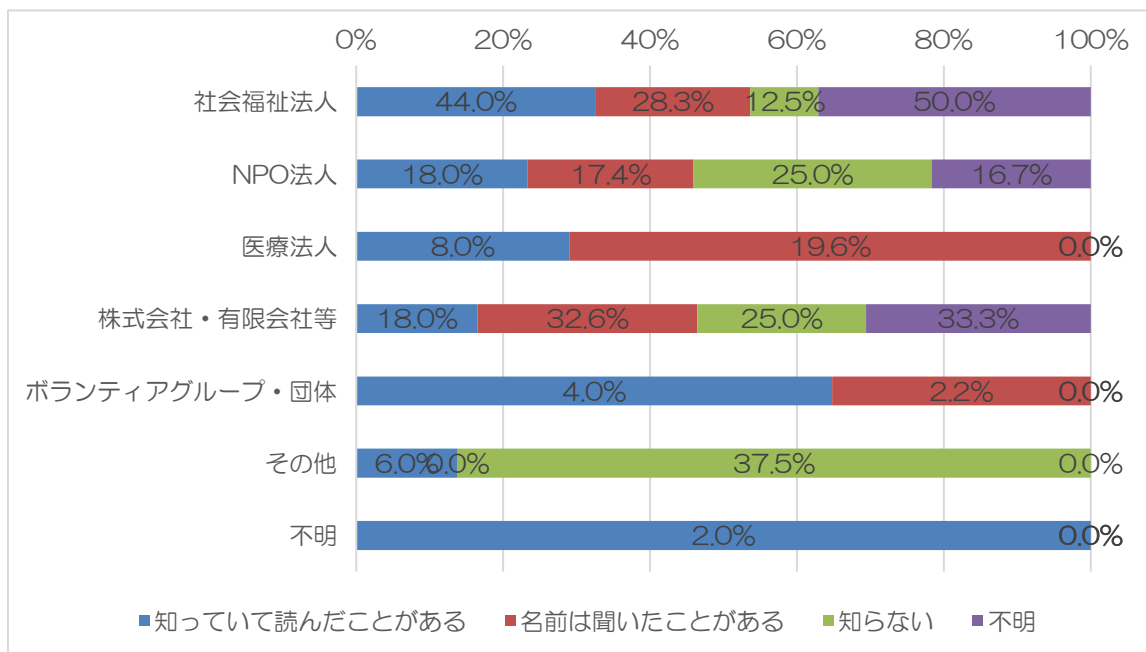
○回答別では、「社会福祉法人」が35.5%、「株式会社・有限会社」が25.5%で、全体の約6割を占めています。

問2 貴事業所（団体）は、次のどれに該当しますか。  
【あてはまるものすべてに○】



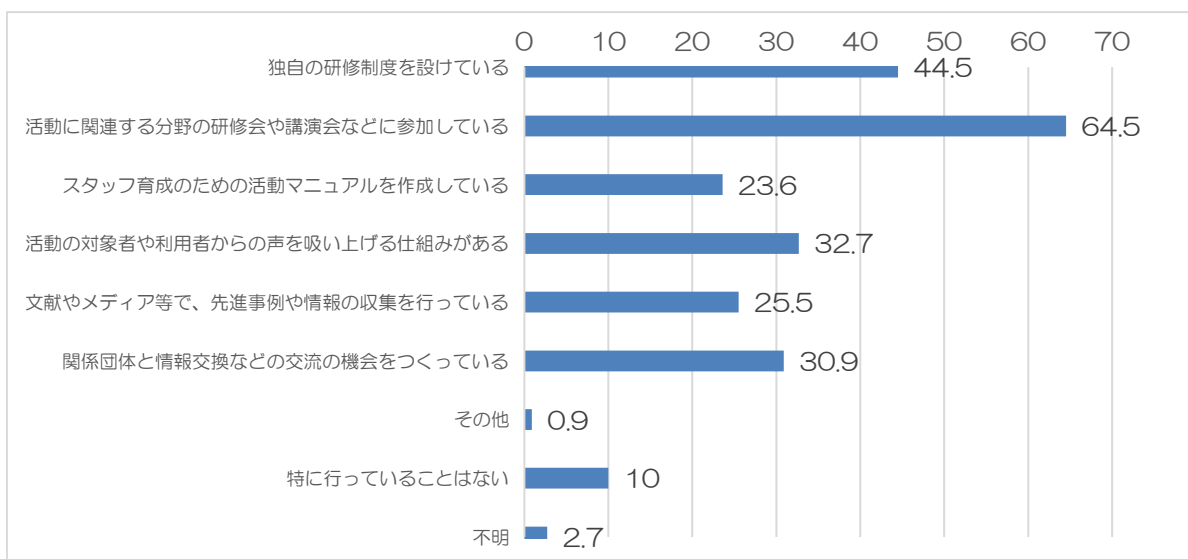
○業務の内容や種類、サービスを受ける側のカテゴリにより細分化されるが入所・居住系サービス事業と地域密着型サービス事業所で半数を占める。

**問3 貴事業所（団体）は、「上田市地域福祉計画・上田市社会福祉協議会地域福祉活動計画」をご存じですか。**



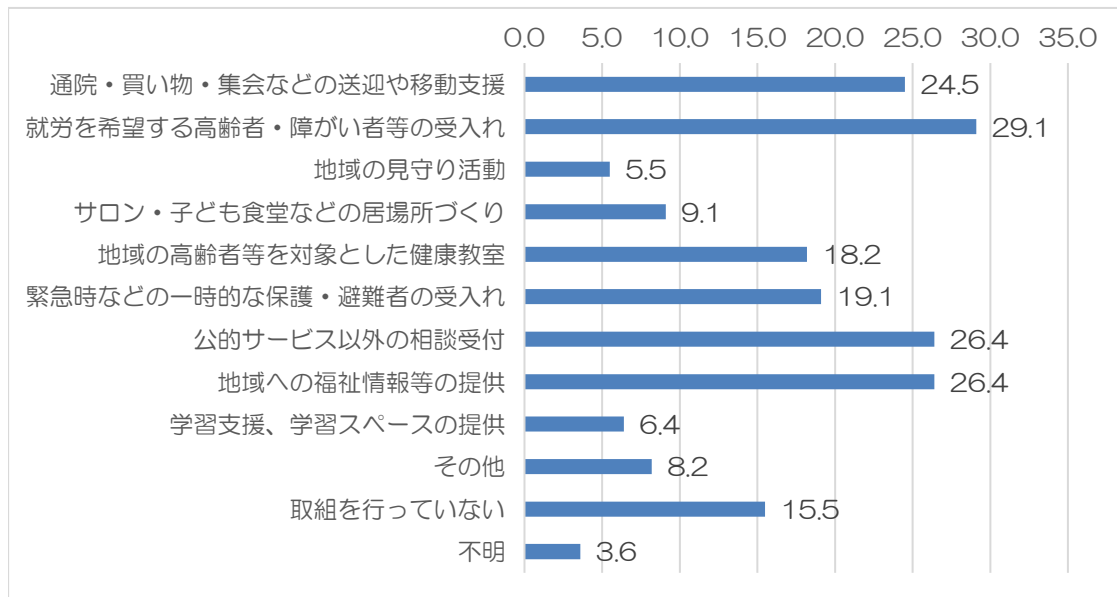
○活動計画は全体としては読んだことがある、名前は聞いたことがあるが9割以上であるが、医療法人、株式会社・有限会社等においては名前を聞くのみにとどまっている。

**問4 貴事業所（団体）では、福祉活動の質を向上させるために、どのような取組を行っていますか。【あてはまるものすべてに○】**



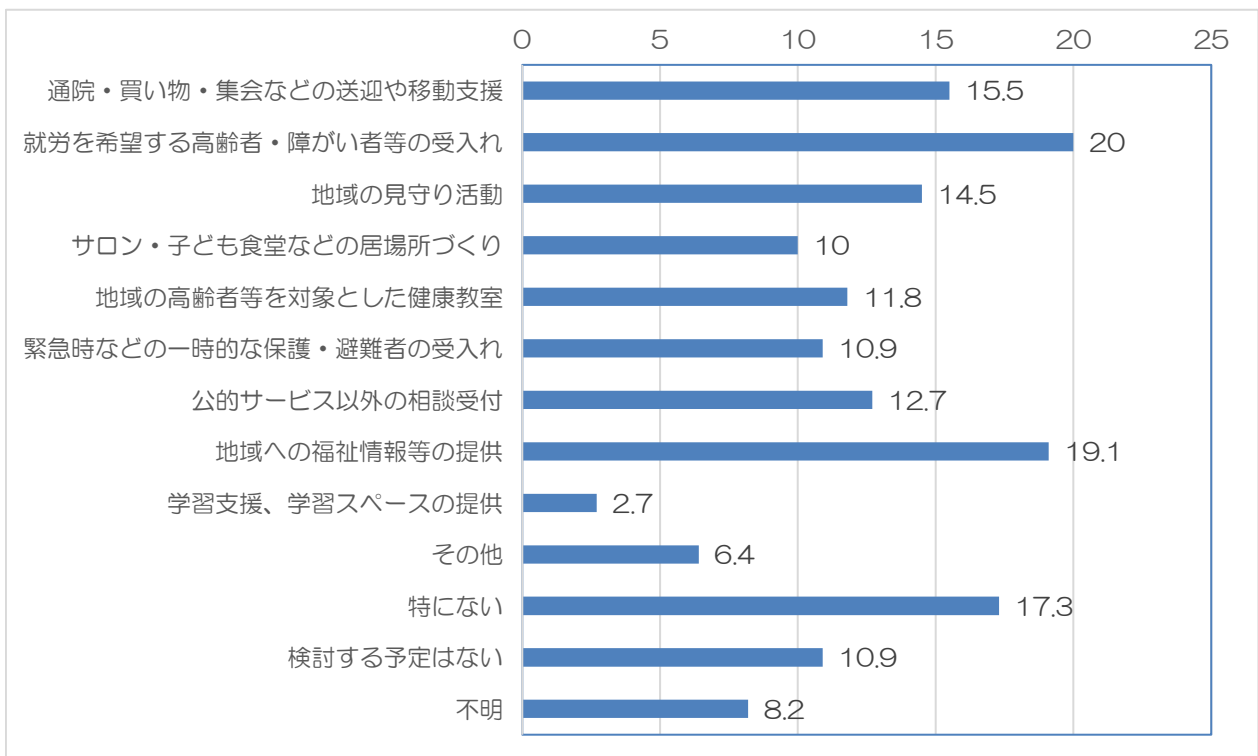
○「特にない」が46.8%を占める。年代別に集約すると70歳以上高齢者の場合、通院やちょっとした買い物やゴミ出しが困るケースがあるものの全体として近所にしてほしいと思う事は少ない。

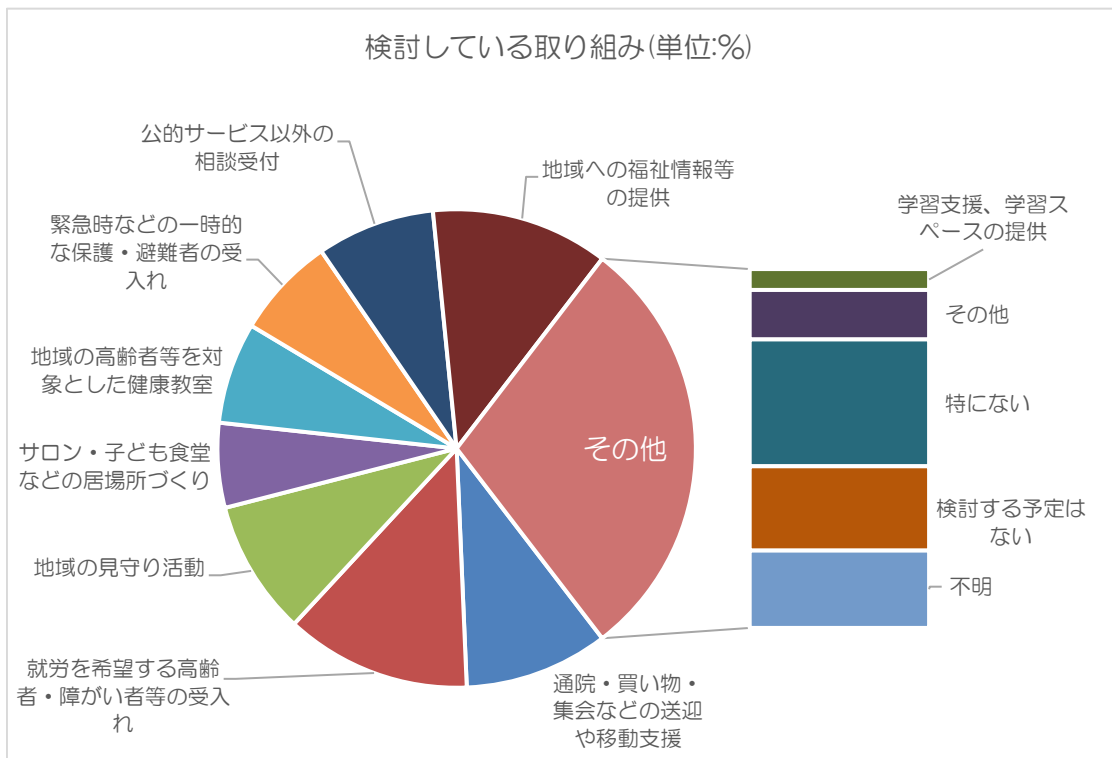
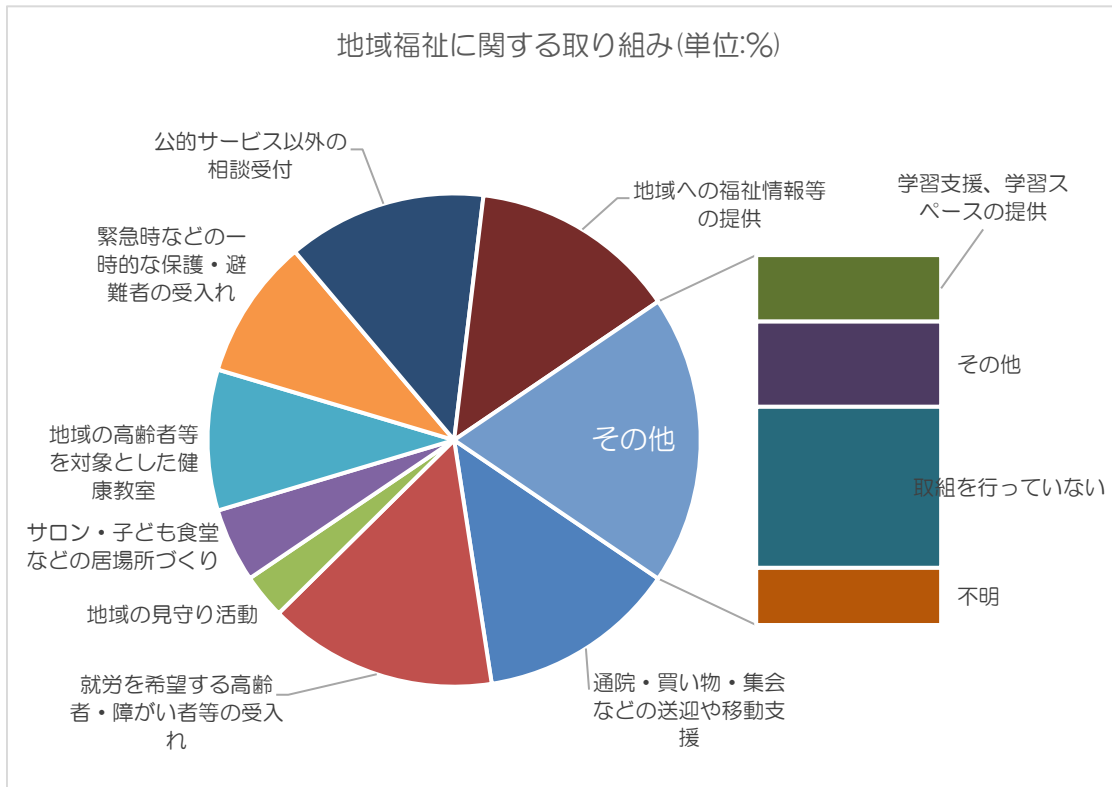
**問5 貴事業所(団体)は、現在、地域福祉に関するどのような取組を行っていますか。【あてはまるものすべてに〇】**



〇就労を希望する高齢者・障がい者等の受入れが積極的に行われている。

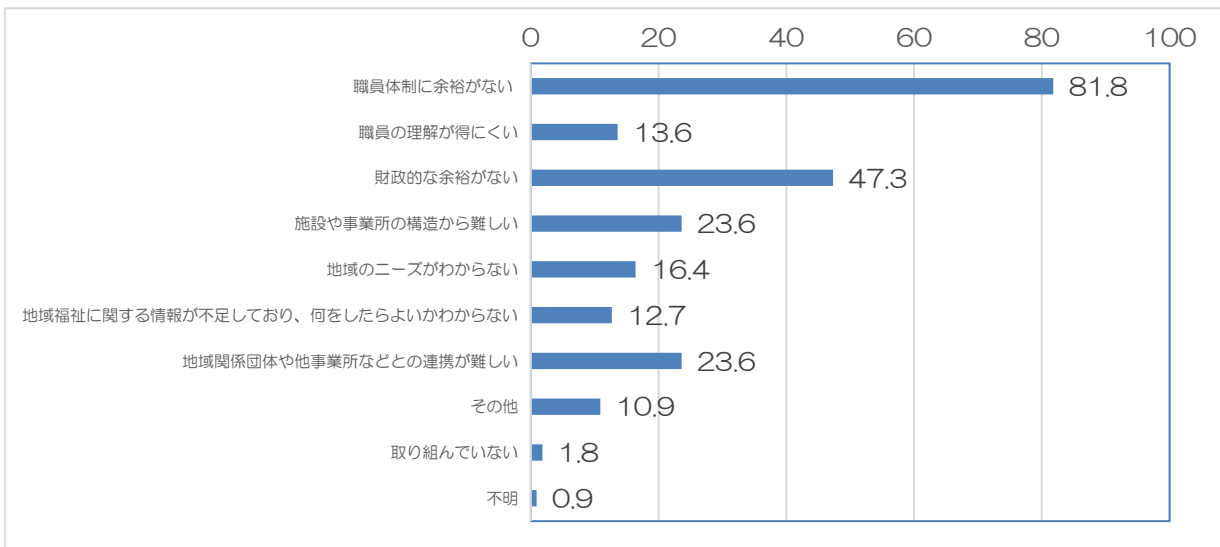
**問6 貴事業所(団体)は、今後、地域福祉に関するどのような取組を検討していますか。【あてはまるものすべてに〇】**





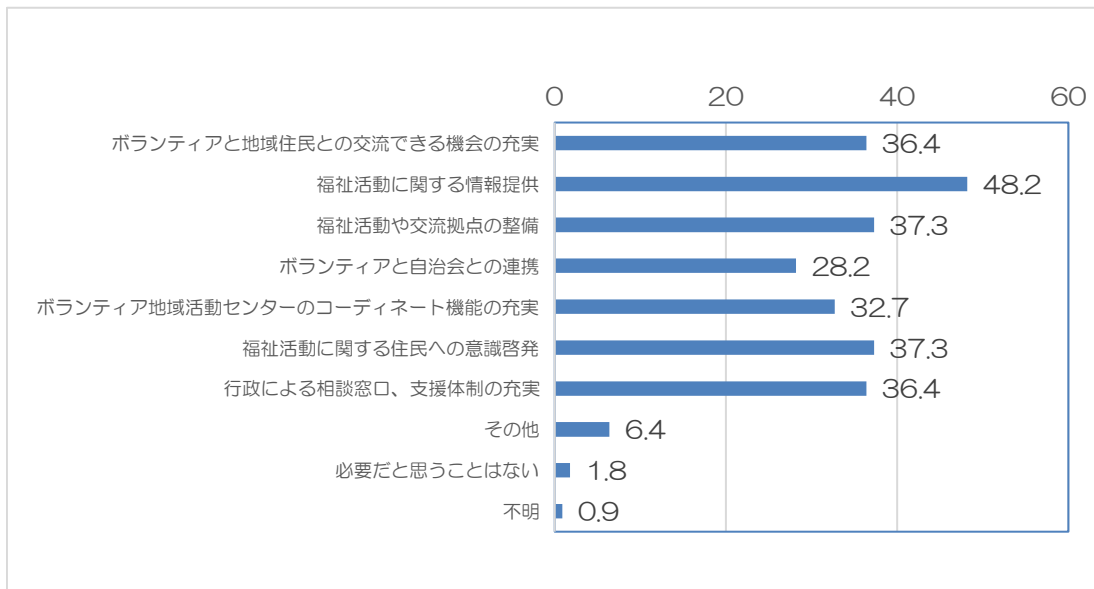
○問5、問6に関して既に実施している取り組みと、検討している取り組みにはほとんど違いがみられず、取り組みに対して検討が進んでいることを表すものと推察できる。

問7 貴事業所（団体）にとって、地域福祉に関する取組において課題となっていることはなんですか。【最も当てはまるもの3つに〇】



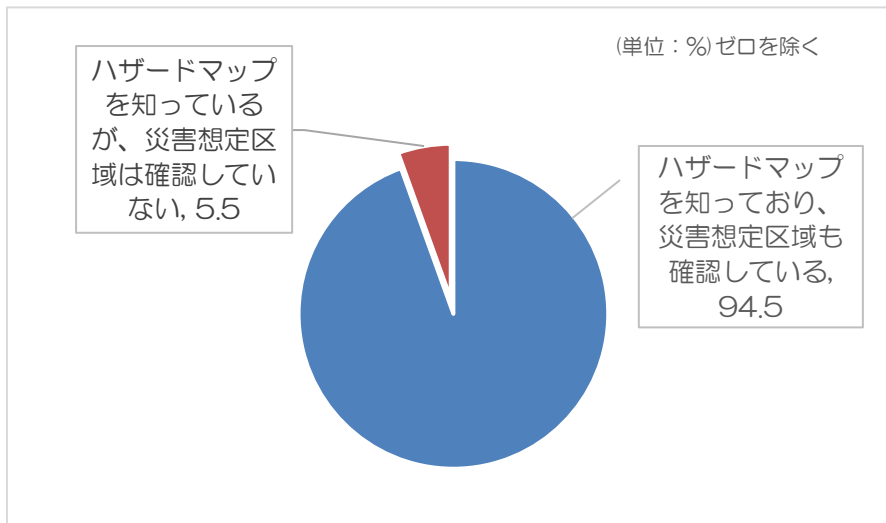
〇職員体制に余裕がないが全体の8割以上を占める。

問8 地域福祉に関する取組において、住民・事業者・ボランティア・行政などの連携を実現していくために、どのようなことが必要であると思いますか。【あてはまるものすべてに〇】



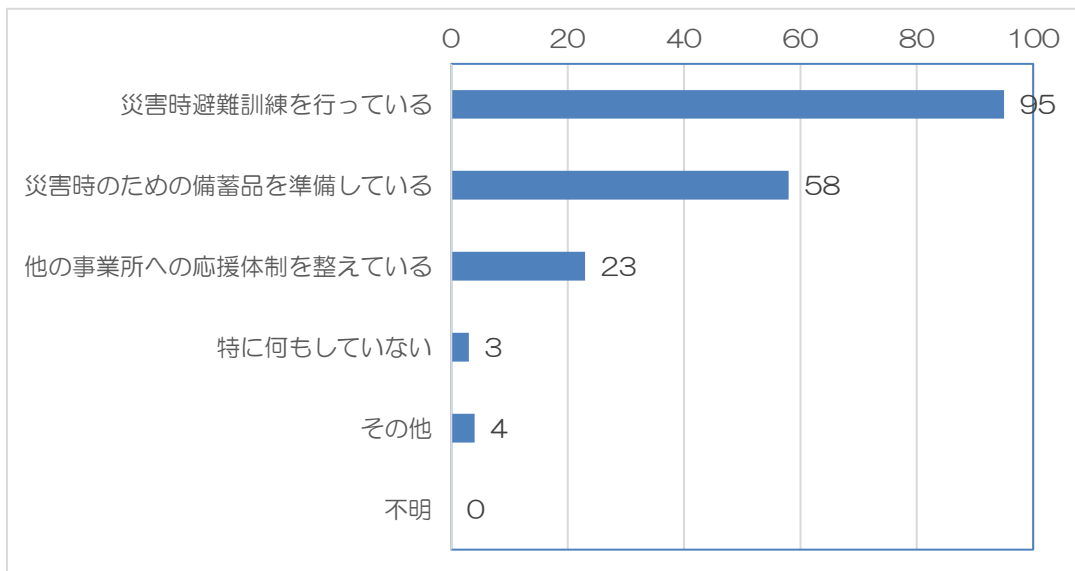
〇連携を実現していくために地域と交流できる機会の充実、また情報提供を求める数が多い。

問9 貴事業所（団体）は、上田市災害ハザードマップにより、災害想定区域を確認していますか。



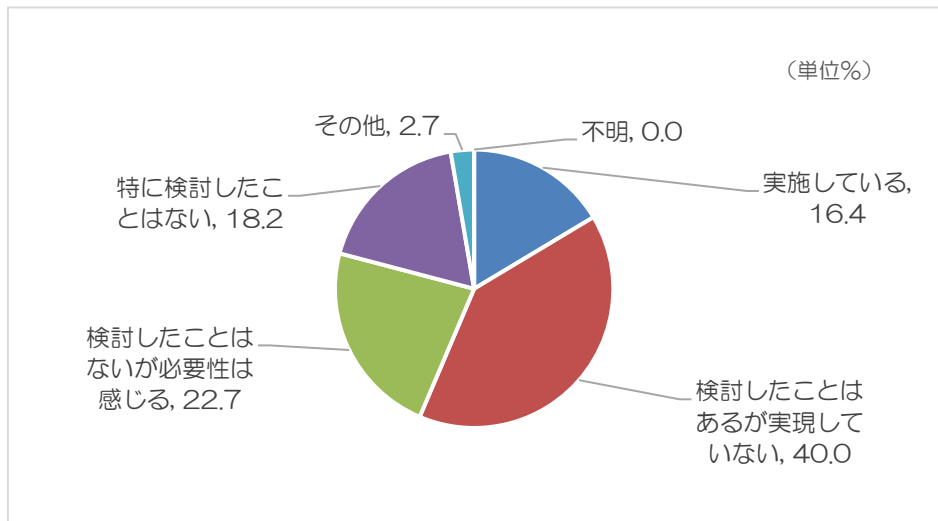
○ハザードマップへの周知・理解がされている。

問10 貴事業所（団体）は、災害発生を想定し、平時からどのような取り組みをしていますか。



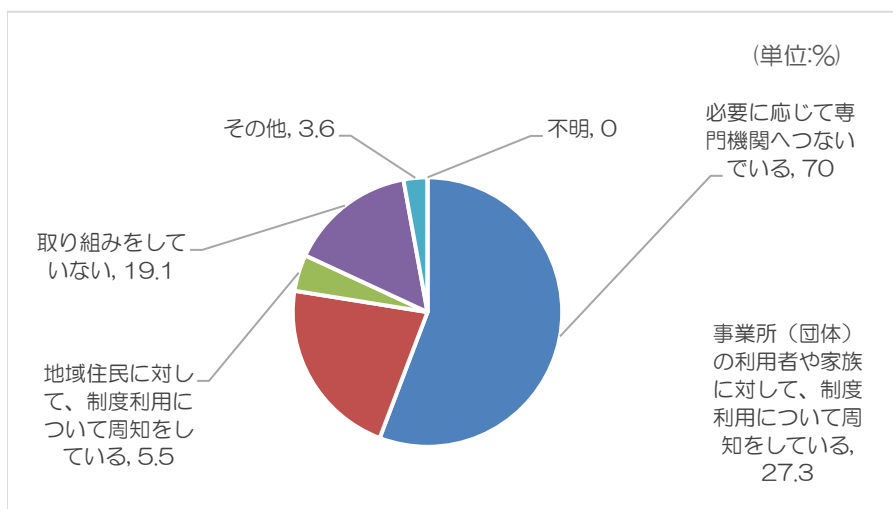
○災害時への対応は出来ているが、不明な点もあり懸念が残る。

問 11 災害発生時に、事業所（団体）利用者の避難において地域と協力すること、また、地域住民の一時的避難場所として、事業所（活動拠点）を提供するなどの検討をされたことはありますか。



○災害発生の検討を強化する必要がある。

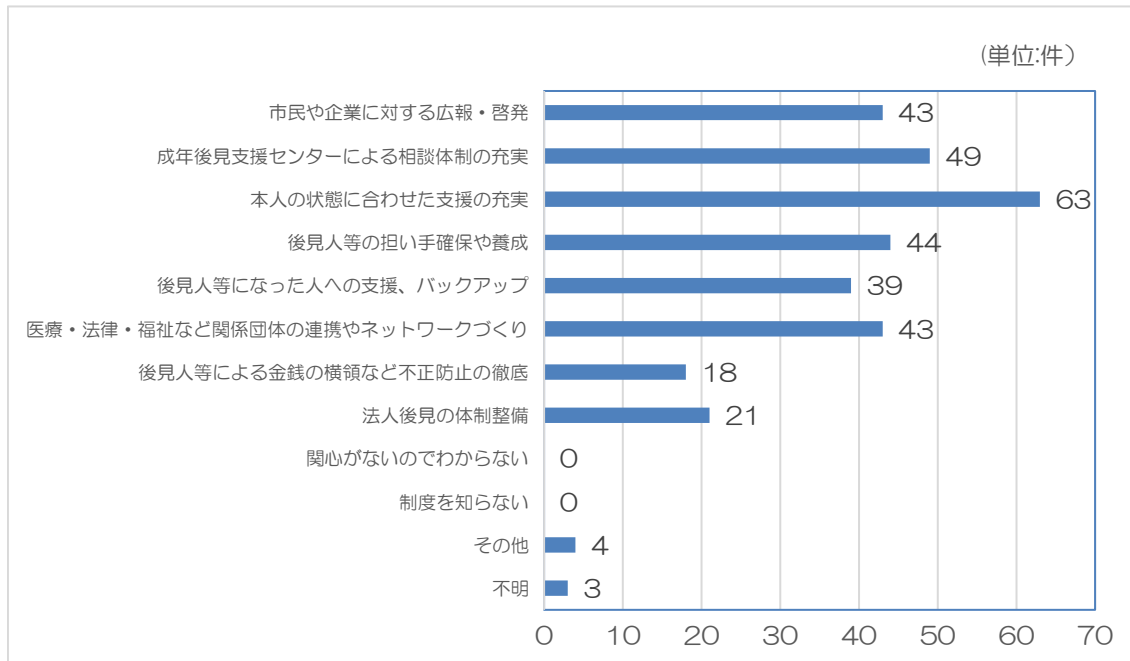
問 12 認知症の方や知的・精神障がい者などで、物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者である後見人等を選び、支援する制度として成年後見制度があります。貴事業所（団体）では「成年後見制度」利用について、どのような取組をしていますか。



○成年後見制度がうまく機能していると推察する。



問 13 成年後見制度の利用の促進・充実のためにはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】



○広報や相談体制を充実させただうえで本人の状態に合わせた支援の必要性が望まれている。